



上田市長からリンドウを受け取る由唯さん(左から3人目)

入館者数200万人達成

「賢治の学校」で記念セレモニー

宮沢賢治童話村内にある「賢治の学校」は8月20日、オープンから約20年で入館者数200万人を達成し、記念セレモニーを行いました。200万人目の入館者となったのは宮城県仙台市から家族3人で訪れた遠藤由唯さん(9歳)。市長や家族とくす玉を割ったほか、記念の盾や市内産のリンドウ、賢治をモチーフにした「デクノボーこけし」を受け取りました。由唯さんは「とてもおどろいた。夏の最後に良い思い出ができた」と笑顔を見せていました。

平和への誓い新たに

戦没者追悼・平和祈念式

8月10日、日居城野運動公園内中央広場で「花巻市戦没者追悼・平和祈念式」が行われ、戦没者の遺族など約630人が参列しました。黙とうの後、市内各高校の代表生徒が千羽鶴を奉呈。続いて非核平和学習会に参加した岩館聡志君(南城小6年)が「平和への誓い」として作文を朗読しました。また、花巻北高校合唱部の皆さんが合唱を行ったほか、村上斗和さん(花巻東高2年)が非核平和都市宣言を読み上げました。最後に参列者が祭壇に花を手向け、戦没者の冥福を祈りました。



それぞれの思いを胸に献花する参列者の皆さん

懐かしさあふれる独特の音色

蓄音機コンサート

8月21日、博物館で開催中の特別展「発明王 エジソン展」創造と努力のキセキ」の関連事業、蓄音機コンサートが宮沢賢治が愛した音楽が聞かれました。紫波町の野村胡堂・あらえびす記念館の協力のもと同館所蔵のレコードから宮沢賢治が好んで聴いたとされるクラシック音楽などを選曲。会場はレコードと蓄音機の独特の音色に包まれました。来場者の佐藤公雄さん(高木)は「録音し、音を聴くということはとても貴重なことだと感じました」と感慨深そうに話していました。



レコードとクラシック音楽の説明をする学芸員



1. 約7,000発の花火が北上川の川面に映えた「石鳥谷夢まつり」(8月13日) / 2.3 大迫町の夏の夜を迫力のある山車が練り歩いた「あんどんまつり」(8月14・16日) / 4. レーザー光線と音楽、花火の豪華なショーを練り広げた「光と音のページェント・花火ファンタジー」(8月20日) / 5.6. たくさんの吹き流しが商店街を彩った「土沢七夕まつり」(8月6・7日)



イーハトーブの夏まつり

市内各地で開かれた夏祭り。鮮やかに咲いた打ち上げ花火や、優雅にたなびく七夕飾り、やわらかな灯りのあんどん山車などがイーハトーブの夏を彩りました。

